

ODKソリューションズ 60年史



ODKソリューションズ
60年史

1963
▼
2022



データに、物語を。



ODKソリューションズ
60年史

1963



2022

データに、物語を。



From the President

ごあいさつ

一人ひとりの人生に 伴走する企業へ

株式会社ODKソリューションズは、このたび、創立60周年を迎えることになりました。これもひとえに、当社に関わるすべてのステークホルダーの皆様からの長年のご指導と温かいご支援の賜物です。まずは皆様に、この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

当社は、情報処理サービス時代の幕開けとともに、「情報サービス事業を通じて顧客の繁栄・社会の発展に貢献する。」という経営理念の下に創業し、皆様のご支援をいただくとともに、新たな事業分野への挑戦と社内制度改革を推しすすめることで着実な成長を続けてまいりました。

2020年3月には東京証券取引所市場第二部へ上場市場変更し、同年12月には同市場第一部へ指定変更いたしました。そして、2022年4月からの東京証券取引所の新市場区分への移行にともない、当社はプライム市場を選択いたしております。

顧みますと、創立以来、当社を取り巻く環境は激変し、社会全体の価値観も「モノ消費からコト消費へ」生活様式とともに大きく変化してまいりました。次の10年では、さらに急速で大規模なテクノロジーの進歩の下、まだ見ぬ新たなビジネスやサービスが創出され、価値観も時代にあわせ変わっていくことでしょう。

こんな時代だからこそ、「人と人」や「人と物」のつながりがこれまで以上にかけがえのないものになっていくと考えており、一人ひとりの人生に伴走し、ストーリーをつむぐお手伝いをしていくことが、これからの時代に必要とされるのだと確信しております。当社は、「データに、物語を。」というコーポレートメッセージの下、夢に向かって挑戦する人の人生をより素晴らしい方向へリードしていく世界観の実現を目指してまいります。

今後も当社のコアコンピタンスを活かせる領域へ挑戦し続け、エンドユーザを含む様々な顧客に寄り添い、皆様のお役に立つ企業としてご期待と信頼に応えられるよう社員一同、日々研鑽に励んでまいります。

引き続き変わらぬご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



株式会社ODKソリューションズ 代表取締役社長 **勝根秀和**

Vision

経営ビジョン

—ODKが長期的に目指す姿—

ビジネスを、スマートにつなぐ。

人生の、ストーリーをつむぐ。

ITの力で、すべての人の人生に喜びをもたらしたい。
私たちのビジネスは、夢に向かって挑戦する人の人生を、
より素晴らしい方向へとリードするソリューションでありたいと願っています。
創業から50年以上の歴史の中で積み重ねてきたデータと経験で、
お客様のビジネスをスマートにつなぎ、
そして、より豊かな人生のストーリーをつむいでいきます。

Message

コーポレートメッセージ

—ODKが社会に提供する価値—

データに、物語を。

Symbol

シンボルビジュアル



Mission

経営理念

—ODKの存在意義—

情報サービス事業を通じて
顧客の繁栄・社会の発展に貢献する。

Policy

経営基本方針

—ODKの基本的な運営指針—

常に技術の向上を図り、優れたサービスを提供し、顧客のさらなる信頼を得る
先を見据えたグローバルな視野で、未来を創造する
働く喜び・生きがいを感じられる、魅力ある会社生活を実現する

Directors

現役員・執行役員紹介



執行役員
河合 勇治

執行役員
民野 昌幸

執行役員
杉谷 康伸

取締役（監査等委員）
若林 孝治

社外取締役
川口 伸也

社外取締役（監査等委員）
水野 武夫

社外取締役（監査等委員）
藤岡 寛

取締役
吉村 美樹雄

常務取締役
森脇 博文

代表取締役社長
勝根 秀和

常務取締役
作本 宜之

取締役
大塚 浩司

勝根社長に社員が聞く 10の質問(+α)

ODKの未来を知りたい。

実現していくリーダーである社長のことも、知りたい。

そんな思いから、グループ経営でODKを次のステージへと導く

勝根秀和社長を、10(+α)の質問で直撃しました。

お手やわらかに(笑)



左からN.M.(2017年入社)、
T.K.(2018年入社)、
K.Y.(2016年入社)



Q1

60周年の節目を迎えて、勝根社長から社員へメッセージをお願いします

社員みなさんに感謝を伝えたいですね。IT業界で60周年は、並大抵では達成できません。安定経営の「風」の時代から、グループが解体され売上が半減した「激動」の時代になり、生き残りを賭けて教育や証券の独自業務等を伸ばす決断をしました。順風満帆ではない苦難を乗り越えて今日を迎えたのは、みなさんの努力の

賜物です。そしていま、積み上げた信頼と実績を強みに、ODKグループが一丸となって「データに、物語を。」のコーポレートメッセージを実現する、さらなる挑戦が始まっています。一人ひとりがイキイキと働き、やりがいと達成感を感じながら笑顔で語り合う姿がいつもある。そんないい会社を、もっといい会社にしていきましょう！

Q2

コンセプトワード、タグライン、シンボルビジュアルを策定した経緯と、込められた想いをお聞かせください

アウトソーシングサービスからデータビジネスへ、モデルチェンジの舵を切るには、社員の考え方も社風も変えていく必要がありました。実現するのは、いつも「人」だからです。すすみゆく方向性と目標をみなさんが納得・共有し、一致団結して「わがこと」として行動を起こせるように。インターブランディングの一環とし

て、コンセプトワードやタグライン、シンボルビジュアルは、トップダウンではなくみなさんの声でつくり上げました。当社が目指す姿を現すにも、世の中に発信するにも、本当にいい言葉です。社外からも「変わりましたね！」との声をいただいています。ITの力でこれから、すべての人の人生に喜びをもたらしていくのが、本当に楽しみです。

Q3

「グループ経営」という事業方針はいつ頃から思案されていきましたか？また、グループ規模はどこまで拡大することを想定されているのでしょうか？

転機は、2020年12月の東証市場第一部への指定変更です。企業価値を向上させ、株主や投資家の方にも魅力ある企業だと認知してもらうためには、従来の延長線上で成長を遂げるスピード感では難しい。時流に柔軟に対応しながら持続的な成長も遂げていくには、データプラットフォームとして新しいビジネスにチャレンジ

していくことが必須でした。それも、1社単独ではなくグループ全体で戦略を推進し、企業価値も規模も拡大していくことを、2021年4月の中期経営計画で公表しました。想定する規模は、プライム市場の上場維持基準となる、流通株式時価総額100億円を達成する姿です。ただ、それも通過点です。急激でなくても着実に、持続的に、

しっかりとプロセスを踏んで、規模拡大を遂げていく。また、目指す方向性と考え方が一致する企業と、アライアンスやM&Aで手を組み、いまはまだない事業にもシナジーを描き出していく。2021年が「グループ経営元年」と宣言したのは、まさにこれから、グループ経営の基盤づくりが始まる、ということですよ。

Q4

ODKの目指している「データビジネス」の展望についてお聞かせください

データビジネスへ経営の舵を切る決断がなぜできたのか。その軸となる日本初の大学間共通プラットフォーム『UCARO®』が、サービス開始から約6年で多くの大学受験生が利用するサービスに成長したことが一番大きいですね。今後は、その『UCARO®』を「点」のサービスから、新たな価値を生み出す「線」にしていくこと。高校、大学、社会人となってから…。人生にいつもつながり、寄り添って、

がんばりや努力をデータによって証明し価値化することは、社会貢献にもつながります。『UCARO®』があるから、ODKを伸ばしていける。その確信は日々、ますます強まっています。さらに金融・証券、医療でも、データをつむぐビジネスにする挑戦がBridge Projectで始まっています。今後さらなるテクノロジーの発展で、人と人、人とモノ、現実と仮想の垣根を越えて有機的につながる世界

が、実現されようとしています。当社は『UCARO®』に蓄積されるデータを価値とするデータビジネスによって、世の中に新しい世界観と未来を創り出していきたいと思っています。「生まれてから、死ぬまで」、すべての人々に寄り添い、日常のあらゆるデータをお預かりして、幸せになる価値としてお返しし、一人ひとりの豊かな人生のストーリーを実現すること。それが「データに、物語を。」創り出す姿です。

Q5

この先数年の課題と目標は何でしょうか？

まずは2021年に策定した中期経営計画をしっかりと達成することです。それが第一歩です。挑戦する課題は山ほどあります(笑)。経営方針は「グループ経営元年」、戦略は「グループ全体での成長に向けた経営基盤の確立」、重点課題は「グループ内の事業の

収益化を最大化」。つまり、事業ポートフォリオを設計し、グループガバナンスを構築していくということです。目標とする数字は2023年度に「売上高80億円、経常利益8億円」です。さらに長期的には、プライム市場の企業であり続けることです。そのために、プ

ライム市場の上場維持基準で「流通株式時価総額(株価×流通株式数)100億円以上」を目指していきます。具体的には、適正な市場評価獲得のために、IR強化の取り組みを推進すること、また、成長戦略の推進と流動性向上の施策を着実に実施することが重要だと思っています。

社長ご自身のことも聞かせてください!

Q6

ODKに入社した理由を教えてください

「これからはコンピュータが絶対、必要な時代や!」。そう思ったんですよ、パソコンもインターネットもない時代に。さすがに、データビジネスやAI、VRの世界等、いまの姿は想像できませんでしたけど。数学は得意だったので、

就職活動の志望条件は、情報処理の会社で、大阪に本社があって、経営基盤が安定している金融系。すべてが揃う選択肢が、この会社でした。先見の明があったかどうかはともかく、いい会社を選んだことは間違いありません。

何でも聞いてください!



Q7

社会人になりたての新人時代のエピソードを教えてください

まだ内定者だった時に、総務課長から電話がかかってきました。「もしかして、内定取り消しか?」。不安いっぱい電話に出たら、「〇〇さんって、知ってる?」

という問い合わせでした。何と、中学校の同級生が3ヶ月前に入社していたんですよ。教室で隣の席に座ったこともあって、凄縁だな、と。ビックリしましたし、「お

おー!」という感じでした。彼女はまじめな生徒でしたが、私は…。昔の素行をバラされないか、といまも実はヒヤヒヤしています(笑)。

Q8

社長という立場になって、身の回りで何か変化はありましたか?

病院に行く回数が増えたかな(笑)。年齢もあります…。社長は孤独にならないといけない、とアドバイスを受けましたが、孤独が好きじゃないんですよ、私は。

だから、どんどんコミュニケーションを取って、誰よりも社内の変化を知っていたい、と思っています。立場や仕事は変わっても、人間って変わらないし変える必要

もない。社長室もオープンにして、できればみなさんと一緒のフロアで仕事をしたい。入社して、抽選でその日の座席が決まる。そんなフリーアドレス、どうですか?

Q9

ODKの良さはどんなところだと思いますか?

たくさんあり過ぎるなあ! まずは、社員がいいところ。みんなまじめでガツガツせず、他人を蹴落とすようなことなく、アットホームで家族的で、困っている人がいたら誰もが手を差し伸べる。昔から、目標が決まったら一致団結する力は強いし、最近は挑戦心も芽生えてきました。本当に、人材に恵まれています。また、グループ全体が、社会貢献に距離感が近い仕事をしているところも、

いいですね。教育、金融、医療、どれも社会生活に必要な不可欠な領域に軸足を置いています。自社の良さって、新卒入社でずっと働いている社員には、なかなかわかりにくい。でも、キャリア採用の社員や、当社を卒業していった人が、口を揃えて「凄く、いい会社!」と言ってくれるから、それは間違いないんだな、と。社員採用では、嘘やかけひきなく、仕事の内容や働く環境、残業時間の情報も実直に

公開しています。入社後に「話が違う!」では不公平ですよ。採用担当者が時間をかけ、ODKをよく知っていただくのはもちろん、今後の方向性も含めありのままをしっかりと伝えています。それでも「ODKで働きたい!」「ODKと一緒に成長したい」と思ってくれる人と、一緒に仕事をしたい。また、そう思う人だから頑張ってくれる。そうやって培ってきた風土も、当社のいいところですよ。

Q10

勝根社長の一番の強みは何だと思われますか?

自分では答えづらい質問ですね(笑)。我は強いかな。自己中心的で、わがままです、本当は。若い頃は直情的にガミガミ言って、よく怒っていました。それでも、周りの人がいつも、もの凄くサポートしてくれてた(笑)。だから、そんな私の性格を理解し、察知し、支えてくれた、社員の仲

間や妻が存在することが、一番の強みです。本当に、人間がよくできた、みなさんです。家庭では、妻にも頭が上がりません。高校から10年間交際して結婚したんですよ。10年目に子どもが生まれてからも毎日、一緒にいて趣味も同じで、2人で過ごしてきた時間は長い。家庭が安定していたおかげで、好

きな仕事を思う存分、やってこられたのは間違いありません。もう一つ、新しい強みができつつあるとすれば、ODKの看板が未来永劫、続いていくために何をしていくか、視野を広く、長い目で見通していく想いを誰よりも強く持っていること。それは一番、大切にしていることでもあります。

こんなことも聞いちゃいました!

学生時代に熱中したことは何ですか?

見聞を広めることに時間をかけました。実際は…遊ぶこと! 本当に、よく遊んだ。自由な時間を制限されるのが嫌で、やりたいことはどんどんやっただし、誰もやっていないことが多かったかな。サーフィンや海外旅行、まだ日本では珍しかったテーブルサッカーやビリヤード等は大会にもよく出場しました。

社長の弱点を教えてください

弱点だらけ、です。こう見えて、実は気が弱いし悩みもします。でも人間って、弱いから知識を増やし、知恵も磨いて強くなれる。だから、弱くてもいいんだけど、外に見せたらあかん、とも思っています。悩んでイジイジする私は、周りの人には絶対、プラスにはならないでしょうから。

社長のルーティンを教えてください

平日は5時に起き、朝食はパンにヨーグルト、果物にコーヒー。朝風呂を浴びて入社します。退社後は寄り道せずに帰宅し、風呂→夕食→愛犬戯れタイム→22時には寝ます。特別感はなくともこだわりは強く、朝食のパンは予約注文、果物は取り寄せ、夕食は十穀米。そんな感じですかね…。

社長のリフレッシュ方法を教えてください

愛犬のアイボリーがとにかく可愛いです。帰宅して名前を呼んでも、出迎えにすらこないんですが…。「あんた、誰?」って感じで。そこがまた、たまらなくて、私から近寄って顎をブルブル触るのが、最高のリフレッシュタイムです。休日は、自宅周辺や、近場の海・山で戯れています。

愛犬について教えてください。どんなところが可愛いですか?

イングリッシュとフレンチ、犬種が違うブルドッグのミックス犬は珍しくペットショップで一目惚れ。象牙色で、妻が好きなピアノの白鍵の意味も、名前に込めました。男の子で体重は20kg、体長は1m弱。みんなに愛される人気者。私に似て我が強く我が道に行く感じが可愛くて仕方ありません。

ところで、社長のお給料っていくらなんですか?

社長に就任して以来、有難いことに業績も好調で、たくさんいただいています(笑)。そのおかげで、愛犬のアイボリーとも会うことができました。そういえば、実は若い頃に「この会社の、社長になる!」って宣言していたらしいんですよ。自分では、まったく覚えていないんですけど…。

社長、本当にありがとうございました!



H.T
ビジネスソリューション部
次長

A.Y
証券・金融ソリューション部
証券・金融システム課 課長

K.Y
pottos事業推進室
室長

T.M
経営戦略室
室長

N.M
情報管理室

G.S
教育ソリューション部
セールスデザイン課

N.Y
人事財務部
人事総務課 課長代理

Special Article 2 社員座談会

職場、仲間、仕事、実現したい夢etc.

未来のODKと私の仕事。

各部署を代表して7人が集まり、現在の仕事がODKのどんな未来をつくるのか、未来の自分や仲間への想い等、フリートークで語り合ってもらいました。

**みなさんの職場と雰囲気って、
どうですか？**

H.T それでは私から。新事業を開発するビジネスソリューション(BS)部は20~30代が中心で、コミュニケーションが活発です。和気あいあいとみんな仲が良く、コ

ロナ禍でもweb会議を通じてさらに仲間意識が高められた気がしています。

K.Y BS部から独立したpottos事業推進室の目的は、『pottos®』の事業化ただ一つ。ワンプロダクト・ワンチームで、方向性も組織構成もわかりやすくブレ

ないので、仕事をすすめやすい職場です。

メンバーは40代の私以外はみんな20代。若さゆえの生意気な部分もありますが(笑)、自己主張が強いのは向上心の裏返し。何でも言える、心理的安全性を大事にしています。業務終了後も、他部署の

メンバーが加わって夜な夜な、ゲームを一緒に楽しんでいます。

H.T すぐ隣の席にいる私から見てもエネルギー溢れる若々しい職場で、輪には溶け込みやすい感じ。とてもいい雰囲気だね。

N.Y 人事財務部は総務と人事、財務の機能が一つになった部門です。社員のみなさんから「とにかく、静か」とよく言われます。毎日3時間、互いに一切話さず、黙々と業務に集中するコアタイムがあるからで、それ以外は賑やかなんですよ。ランチタイムは一緒ですし、コロナ禍前はよく休日にバーベキューもやっていました。

A.Y コアタイムにオフィスの扉

を開けたら、あまりにも静かで一瞬、入りづらいついて感じる時もある(笑)。

N.Y それを言われると、ちょっと凹みます…。でも、働きやすい環境や制度をつくるのが私たちの仕事で、社員のみなさんはお客様。不利益を与えないように、と敢えてコアタイムを設定しています。他部署のみなさんにはいつでも、オープンですよ！

T.M 経営戦略室は、ネクストステージ戦略室の名で発足した当初、作本さん(現・常務取締役)と私、2人だけのスタートでしたが、少しずつ仕事もメンバーも増えてきました。

仕事はアライアンスやM&A、中期経営計画の策定に広報・ブランディングも。まさに山積みです(笑)。メンバーは比較的若い構成で、みんな個性的。互いの距離感も近いので、いつも冗談を言い合いながら、ガッツも忍耐力も責任感もあるメンバーにインスパイアを受けています。

A.Y 証券・金融ソリューション部は比較的、年齢層が高いですね。20~30代が少なく、40代と50代がメインです。でも若手がとても優秀で、安心して仕事を任せています。

証券・金融のシステム商品は常に緊張感がともないます。ピリッ

と締まる瞬間とリラックスする時、チームワークにもメリハリがある感じでした。

G.S 教育ソリューション部で、私は五反田オフィスにいます。部内は人数が多く、40代以上と私たち20代が中心で、30代は少ないですね。みんな仲が良く、13階食堂でのランチや歓送迎会もコロナ禍前はいつもほぼ全員参加で、欠席する人が珍しいほどでした。

仕事は1大学に担当が2名以上いて、若手が主担当で管理職がサポートする体制です。担当大学が違うメンバーとも情報共有しながら、互いに助け合っています。

N.M 情報管理室は、20代の私以外は外部要員も含めてみんな40代以上です。個人的には、同世代が増えてくれるといいなあ、と(笑)。認証管理や機械室、ファシリティ関係のチームと、社内サービス・インフラを管理するチームがあって、私は後者です。と言っても業務の幅が広いので、実際にはみんな協力を合うワンチームですね。

大阪本社の18階は私たちだけで、

他部署との接点も少ないので、ワイワイ賑やかという感じはないですね。N.Yさんと同じで、私たちも社員のみなさんがお客様。常に働きやすい環境を提供しようと、できるだけ互いの作業を邪魔しないように、本当に必要なことだけ声をかけ合っています。

データビジネスのグループ経営を目指す未来ビジョンに、感じたことは？

G.S シンボルビジュアルが決まってから、五反田ではバウムクーヘンみたいでかわいいね、と評判ですよ。今年からODK手帳の表紙にも載って、少しずつ浸透しているな、と。

T.M 経営戦略室もバウムクーヘンですね。役員にそう伝えたら「愛着が湧いて、いいなあ！」と(笑)。

K.Y 私はお腹がすくんですよ。見たら(笑)。

A.Y うちの部署はドーナツ派かも。お客様を訪問する日は「ドーナツ(社章)を忘れずに着けていぞ！」って。バウムとドーナツ、世

代で感覚が違うのかも。

T.M コンセプトワード「データに、物語を。」をカタチにしたのが、シンボルビジュアル。考案したプロのデザイナーが言うには「ドーナツもバウムも、イメージできることが狙いどおり！」と。

インナーブランディングを推進するには、社員みんなが同じ認識を持つことが大事。ブランド価値を伝えるのって難しいことだけど、わかりやすいカタチで、心に残るものがつくれて良かったと思っています。

H.T 私とA.YさんとN.Yさんは、コンセプトワード検討会のメンバーで、いろいろとディスカッションしたよね。ただ正直、「データ」というワードがあまりピンと来なくて…。いまま新規事業プロジェクトメンバーに話を聞いてるけど、なかなか自分の仕事につなげる取り組みができていない。みなさんはどうですか？K.Yさん、『pottos[®]』はデータを扱うよね。

K.Y データビジネスに進出していくトップランナーは『UCARO[®]』。

もともとやっている大学のBPOの受託業務では、データの直接収集はできなかったけど、『UCARO[®]』ではそれができるので、今後は大学入試以外にもデータを活用し、価値を高める仕組みをビジネスにしているところ。『pottos[®]』はデータの持ち方が違うけど、ビジネスにする難しさは同じですね。だからビジネスモデルをつくる人や、データ分散やAIを扱う技量を持つ人がもっとたくさん増えてほしい。

ちなみに『UCARO[®]』は「受かる！」ではなく「university and college admission road」の頭文字なんです。

H.T そうなんだ。ICOCAのノリで、さすが関西の会社やな、と思ってた(笑)。

60周年の先もずっと、伝え残したい社風や文化は？

N.Y 人を大事にするあたたかさやアットホームさは、どんなに時代が変わっても残したいですね。人事管理の立場で言えば、入社した人が「ODKってすごくあった

かい会社ですね！」と言ってくれるのが嬉しいし、人材定着率の向上にもつながりますから。テレワークで対面機会が減っても、必ず！
A.Y 仲間意識は証券・金融のメンバーも強く持っていると感じますね。

T.M これからもプロパーだけではなくキャリア採用者が増えると思いますが、N.Yさんと同じで、まじめでいい人が多いという社員のマインドの良さは残していきたいですね。誰かを出し抜いたり陥れたりする人がいないのも、当社の強みですから。

G.S 穏やかでやさしくて、親切な人が多いですね、本当に。それに上を目指す気持ちも持ってる。ただ、あまり表に出さないし、積極的に周りを引っ張ることは少ないかも…。それでも、競争意識がないわけじゃなくて、心の内に秘めている感じですね。

N.Y なれあいにならない競争意識は、人事課題としても認識しています。大証金グループの仕事をしていた時は、守りに強い協調性

の高い人材を集めていました。でも独立独歩をはじめた10年前から攻めの体制に変わろうと、チャレンジ精神や向上心を持つ人に人材要件を見直しました。未知の世界に飛び込んでいける人が、新卒・キャリア採用ともに増えています。もちろん、資質は違って「いい人」であることは共通点ですよ。
A.Y 確かに、最近入社した人って、積極的に何でも吸収しようという意欲が強い。若手も話し方がしっかりしていて、私を含めて社歴が長い人はものすごく、いい刺激をもらっています。

60周年から、変えていきたいこと、新たに作りみたい未来は？

N.M 情報管理室としては、社内システムの統括管理に、中長期的に取り組む必要性を強く感じています。部署ごとのサイロ化をすごく感じていて、DXツールの活用も、先進的な部署とそうでない部署のレベル感の違いが、大きいんですよ。効率的な仕事のすすめ方

ちなみに、『UCARO[®]』は「受かる！」ではないんです。(K.Y)

いろいろディスカッションしたよね。(H.T)

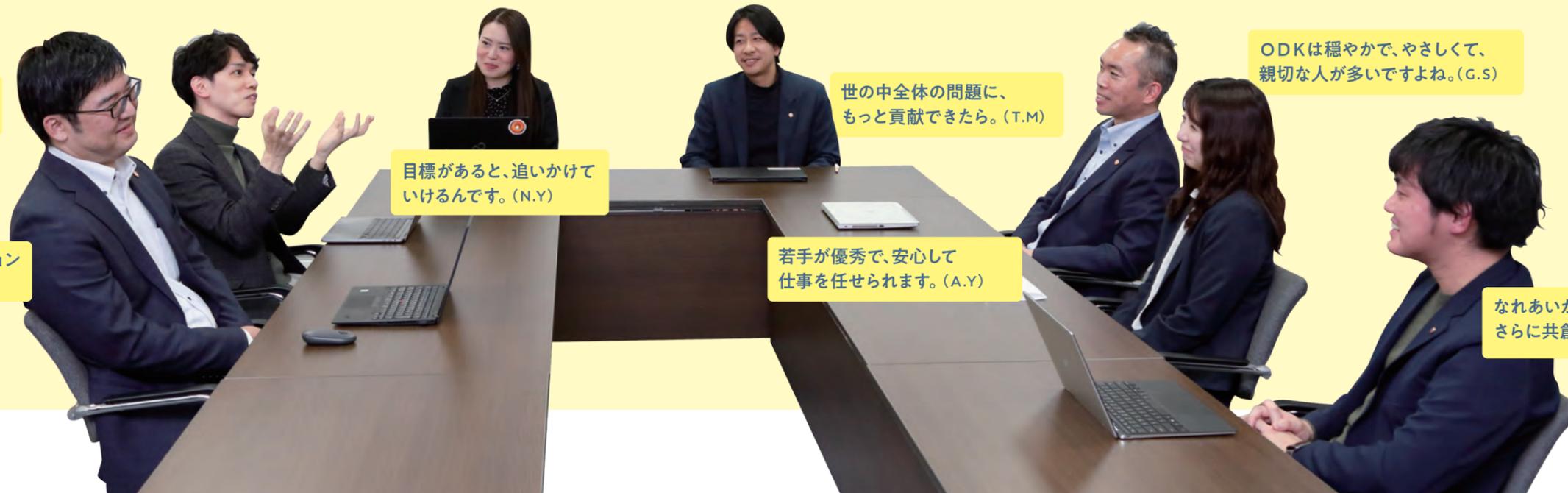
目標があると、追いかけていけるんです。(N.Y)

世の中全体の問題に、もっと貢献できたら。(T.M)

若手が優秀で、安心して仕事を任せられます。(A.Y)

ODKは穏やかで、やさしくて、親切な人が多いですね。(G.S)

なれあいから競争へ、さらに共創へ。(N.M)



シンプルな文字で宣言！
ODKと仕事への
私の想い

「利益を生む」「社会と人の役に立つ」というダブルミーニング。
(K.Y)



愛にあふれた会社になりたいと思っています。
(T.M)



ODKと社員の未来が光り輝くように。
(G.S)



をノウハウとして共有し、一緒に高めていけるように。みんなが同じ土俵のプラットフォームを使うことで、なれあいから競争へ、さらに共創へ、とすすんでいけたら、と。

T.M 日常的な業務に流されるだけで終わらずに、一旦立ち止まって勉強する時間を確保することを忘れがちですね、いまは。1日に少しずつでも積み重ねて10年経てば、当社の稼ぐ力に大きな影響を与えることができる。地力をつける、とえばいいのかな。

H.T ちょうどいま、学ぶ時間を作ることにチャレンジ中です。新入社員の方にもマーケティング的な仕事で活躍してもらいたい。でも、自分がわかっていないと判断も寄り添うアドバイスもできない。40代後半まで、SE中心のキャリアだった私にどこまでできるか、自分でも楽しみです。

マーケティングは経験豊富なK.Yさんに相談もしています。仲間の手も借りて、人のつながりを活かしてチャレンジできるのも、当社の良さですね。

K.Y 若手にとって目標となる先輩がいることも大事だね。

H.T 自分がどんな姿になっていくか、将来のイメージができてブレなくなる。

A.Y 若手に、誰を目標にすればいいか相談されることがあります。まずオレちゃうんか！って思いますがすけど(笑)。やっぱり身近で目標にできる存在が必要だし、私も目標にされる人になることが目標になっています。

N.M 人事とのフォローアップ面談ではずっと、目標にする先輩は自分の所属室長と言っています。テクニカルとマネジメント、どちらもハイスキルで凄いな、と。語り方をまねることからはじめると、なぜそう言うのかもわかってきてスキルアップにつながっています。

N.Y 「憧れは、成長の源泉」という考え方で。目標があると、追いかけていけるんですね、人間は。

10年後のODKはどうなっていて、その時に自分は
何をしていると思いますか？

H.T 入社した15年前は100名に満たなかった社員数がいま、1.5倍の150人に増えた。これから200人を超えても、みんなの顔と名前がわかる会社でありたい。

個人的には、入社後に生まれた小学3年生の子どもが、作文で憧れの職業に私の仕事を書いてくれたら嬉しいなあ。いまは残念ながらYouTuberだけ(笑)。

K.Y YouTuberは手強いですね(笑)。個人的には私も、ジュード・ロウのように、イケてるおやじになりたいですね。全然ちゃうやろ、って10年後突っ込まれるかも(笑)。

仕事では『pottos®』がグループ経営の柱として収益を最大化していく原動力になるように、まずは事業拡大を成功させること。できれば上場もして、その後は誰かに任せて自分は再びイントレプレナーとして新事業を立ち上げてみたいですね。

進



進化、進歩、みんなが向上心を持ってすすんでいけるように。
(H.T)

N.Y イキイキとした会社になってほしいな、私は。リーマンショックや親会社の経営統合等、激動の時代に身を置いてきて、ようやく「なんとかしなきゃ！」の窮地を脱して「さらなる成長へ！」と盛り返したから。会社も社員もガツガツ、殺伐でなく、イキイキ、快適に。そうなれる環境や制度をみなさんの声を聞きながら実現していければいいな、と。

T.M 経営戦略室で会社の業績を高めるのは当然だけど、SDGsやESG経営にも視野を広げて、もっと社会と密接に関わっていきたいですね。

いまの子どもたちはSDGsやエコロジーをよく学んでいて意識も高い。何もしないと当社も次世代を生きる主役の若い人に置いてきぼりにされるだけ。海洋プラスチックごみはなくせなくても、Web出願はペーパーレス化に大きく貢献しています。世の中全体の問題に、当社のビジネスがもっと貢献できることを考えていけたら、と思っています。

A.Y 証券・金融部門は他部門と

ちょっと色が違うし、お客様のために勉強するのも、証券・金融業務のことばかり。データビジネスの流れには乗れていなくて、株主向けの事業報告書では最後の方にちょこっと載っているだけ。なんとかしなきゃいけないが、がんばりますよ。

N.Y 大丈夫！「なんとかしなきゃ！」が、盛り返していくスタートラインだから。

G.S 教育ソリューション部は、外部環境の変化に対応し、新しいことを考えていく必要があります。データビジネスの可能性は、現状は手を付けていないデータ分析が鍵になるので、私も関わっていければ、と。『UCARO®』は2021年度入試では、国内総受験者の約3人に2人が利用するシステムです。大学入試だけでなく、勝根社長が目指す「生まれてから、死ぬまで」(注・トップインタビュー参照)の根幹としてしっかりと活用し、他社にない「ODKだからできる付加価値」を提供していきたいですね。

N.M みなさんが日々使うPC

の購入等、会社で使う道具やサービスは情報管理室が担当して、入社した日からすべてが整っていて、仕事に専念してもらえるようにしたいですね。そうすれば、G.Sさんのような人もデータ分析に時間を使えるし、社内にデータアナリティクスが育つ力にもなれる。人と事業が育つ土台となる時間をつくるのが、未来につながると思っています。

もう一つ、現行システムの運用保守だけではなく、一部上場企業の情報システム部門として、人事財務部や経営戦略室と密に連携して、より強固に、システム戦略を描き出していけたら、と。それができれば間違いなく、当社は発展し続けていけると確信しています。

*

司会 みなさん、ありがとうございました。コーポレートメッセージ「データに、物語を。」を未来への約束として、実現していきましょう！

人、ひいては部門は会社の柱となり、会社は社会の柱となる。
(A.Y)



会社が活気に溢れ、社員みんなが活躍し、イキイキと輝くように。
(N.Y)



当たり前と考えていた業務の中からムダを洗い出していく。
(N.M)



Timeline 年表

西暦	和暦	月	当社の動き	月	業界・社会の動き
1963	昭和38	4	大阪電子計算株式会社設立(4月1日)。 設立総会で代表取締役社長に村岡元一就任	2	日本、GATT11条国へ移行通告
		4	I B M社製PCSによる受託計算サービス開始	11	ケネディ米大統領暗殺
		7	大証金ビル5階に本社を移転		
		10	UNIVAC社製USSC-80による受託計算サービス開始		
1964	昭和39	9	大学入試業務を受託、サービス開始	10	東海道新幹線が開業(東京―新大阪間)
1965	昭和40	8	NEAC-2200導入(1号機)		「いざなぎ景気」始まる(～1970年上期)
1970	昭和45	3	社団法人日本情報センター協会加入(現・情報サービス産業協会)	3	日本万国博覧会が大阪・千里丘陵で開幕
1971	昭和46	5	FACOM電子計算センター協議会(現・FCA)に加入	7	東証 株券振替決済業務開始
		10	FACOM-OCR(光学文字読取装置)導入	8	米ドル防衛策でダウ暴落。ドル・ショック
1972	昭和47	12	「情報処理サービス企業等台帳」登録(大阪通商産業局商工部)	2	札幌冬季オリンピック開幕
1973	昭和48	3	創立10周年記念式典	7	日本証券業協会発足
		12	CDC-921型レーザーOCR導入	12	東証 外国株式の立会開始
1974	昭和49	2	富士通販売代理店ディーラー権を取得	10	佐藤栄作元首相がノーベル平和賞を受賞
1976	昭和51	12	FACOM-OMR導入	2	ロッキード事件が発生
1981	昭和56	11	JEF(日本語情報処理)、AIF(時分割処理)、AIM(オンライン処理)各システム導入	3	神戸で「ポートピア'81」開幕
1983	昭和58	4	創立20周年記念式典	4	東京ディズニーランド開園
1987	昭和62	9	FACOM M-730/4導入	4	国鉄の分割・民営化でJR11法人発足
1988	昭和63	4	創立25周年記念式典	3	日本初の屋根つき球場「東京ドーム」開館
		7	高正ビル(4階)に分室を開設 ・大阪市東区北浜3-20	4	NTT総合デジタル通信網(ISDN)スタート
1989	平成元	12	FACOM K-650/20導入	1	昭和天皇崩御、平成に改元
1990	平成2	5	分室開設 ・大阪市中央区北浜2-3-9 入商八木ビル(5階:電算機室・データ保管室、4階:事務所)	4	国際花と緑の博覧会が大阪・鶴見で開幕
		5	大証金ビル4階及び高正ビル4階事務所を分室に移転	8	イラクのクウェート侵攻で湾岸危機
1991	平成3	2	システムサービス企業(システムインテグレータ)の登録法人として通産省(現・経済産業省)より認定(登録番号:02110155)	4	東証 立会時間延長
		3	北浜分室が財団法人機械電子検査検定協会(JMI)から安全対策に関する「適合証」交付	4	改正商法施行
		5	FACOM M-760/4導入	9	経済企画庁「いざなぎ景気」超えと発表
1992	平成4	4	東京営業所開設 ・東京都中央区日本橋茅場町3-11-10千葉ビル3階	8	日経平均15,000円割れ、バブル崩壊
1993	平成5	4	創立30周年記念式典	5	初のプロサッカーリーグ開幕
1996	平成8	2	特許庁「サービスマーク」の商標登録認定	2	将棋の羽生善治名人が史上初の七冠に
		3	GS8400/10Q導入(東京センター)	7	堺市でO-157の集団食中毒発生
		4	GS8400/200導入(大阪センター)	9	大リーグ野茂英雄投手がノーヒットノーラン
		6	大証金ビル5階事務所を分室に移転	9	国連、核実験全面禁止条約を採択
		6	ダイシンビル9階に事務所新設	10	初の小選挙区比例代表並立制で総選挙
		8	東京営業所の事務所移転 ・東京都中央区新川1-28-25(東京ダイヤビル3号館)		
1998	平成10	7	株式会社オーディーケイ情報システム設立	2	長野冬季オリンピック大会開幕
		8	N C S社製5000i(イメージOCR/OMR)導入	6	金融監督庁が発足
1999	平成11	9	バンクテック・ジャパン社製イメージトラックシステム導入	11	東証新市場「マザーズ」開設
2000	平成12	11	東京営業所の事務所移転 ・東京都中央区新川2-1-9(石川ビル)	4	介護保険制度が開始

西暦	和暦	月	当社の動き	月	業界・社会の動き
2001	平成13	8	GS8500導入(東京センター)	3	大阪市此花区にUSJ開園
		10	プライバシーマーク取得	9	米で同時多発テロ発生
2002	平成14	4	「東京営業所」改め「東京支店」	5	経団連と日経連合併、日本経済団体連合会に
		9	GS8500導入(大阪センター)	5	日韓サッカーW杯開幕
2003	平成15	4	創立40周年記念誌発刊	3	米英軍、イラクを攻撃。イラク戦争勃発
		5	電算機室、データ保管庫に監視カメラを設置	4	日本郵政公社発足
		8	データ読取装置設置室に入退室管理装置を設置	5	「個人情報保護関連5法」成立
		8	新証券総合システム『SENS21』の第1号ユーザ受託決定		
2004	平成16	5	BS7799の認証審査合格(本社)	5	裁判員制度法成立
		5	「Web出願システム」新規受託(受託校計4校)		
		6	法科大学院の入試業務新規受託(受託校計7校)		
2005	平成17	5	ISMS、BS7799拡大審査(東京支店)を受け、拡大認証取得(～6月)	2	京都議定書発効
		8	従業員持株会の発足(加入者数70名、口数1,265口)	3	愛・地球博(愛知万博)開幕
		10	5階及び7階電算機室入口に静脈認証装置を設置	4	JR福知山線で脱線事故、107人死亡
2006	平成18	4	Web A & Aシステム本格稼働開始	1	ライブドアショック
		7	Web A & A訪問履歴管理システム導入	7	日銀が量的緩解除、ゼロ金利解除
		9	商号変更(新商号:株式会社ODKソリューションズ)	11	景気拡大、いざなぎ景気を超える
2007	平成19	3	株式上場(ヘラクレススタンダード)	6	サブプライムローン問題、顕在化
		6	ISMS認証基準(V2.0)をISO/IEC 27001に移行	7	新潟県中越沖地震
		8	PTS運用業務を新規受託	10	日本郵政公社が民営化
2008	平成20	5	電算機室を移設(北浜MIDビル)。電算機室にN2(窒素ガス)による消火装置を設置。自家発電装置を設置	9	米証券大手リーマン・ブラザーズ経営破綻
		5	GS21 500導入	11	米大統領選でオバマ氏が当選
		8	北浜MIDビルに本社移転(～10月)		
2009	平成21	7	株式会社エフプラスの全株式を取得		新型インフルエンザのパンデミック
		10	『Watch21』システムの基盤を構築		世界同時不況で電機、自動車等巨額赤字
2010	平成22	7	iPadによる電子書籍サービス提供開始(株式会社エフプラス)	6	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
		7	日本システム技術株式会社と協業契約を締結		円急騰で、日銀、ゼロ金利を復活へ
		7	株式会社だいこう証券ビジネスが会社分割(証券代行業業の売却)を発表		
2011	平成23	3	『Watch21』第1号ユーザ受託決定	3	東日本大震災、東京電力福島原発事故
		4	東日本大震災義援金を寄付	3	東京電力管内で輪番停電(計画停電)実施
		5	PRIMERGY BX900導入	7	サッカー女子W杯ドイツ大会で日本優勝
2012	平成24	1	株式会社リクルートと協業契約を締結	5	東京スカイツリー開業
		4	タブレット向け電子書籍アプリ開発を受託	8	消費税増税法案成立
		4	「ODKほふりシステム」サービス開始	11	米大統領選でオバマ氏再選
		10	シナジーマーケティング株式会社と協業契約を締結		
2013	平成25	4	講師を志すすべての人へ、動画付き「講師道場」アプリ提供開始	4	日銀、異次元金融緩和実施
		4	創立50周年記念行事開催	6	富士山が世界文化遺産に登録
		6	株式会社学研ホールディングスと業務・資本提携契約を締結。筆頭株主が株式会社学研ホールディングスに変更	9	2020年オリンピック開催地が東京に決定
		6	日本システム技術株式会社との協業強化	12	特定秘密保護法が成立。与党が採決を強行
		6	NISA事務代行サービスの開始		
		7	日証金・大証金の統合		
		7	日証金次期システム開発案件・受託		
		8	日証金次期システム開発案件・受託		

西暦	和暦	月	当社の動き	月	業界・社会の動き
2013	平成25	9	ユニット褒賞制度スタート		
		10	「おでこちゃん」商標登録		
		12	株式会社学研教育出版との協業サービス「私立中学校向けインターネット出願システム」、サービス開始		
2014	平成26	2	『プライバシーマーク制度貢献事業者』として表彰	4	消費税8%に引き上げ
		2	『学研の頭脳開発』アプリの「ちえのおけいこ」の提供開始	6	改正電気事業法成立。電力小売り自由化へ
		11	ナカバヤシ株式会社と業務・資本提携契約を締結	8	広島市北部豪雨で土石流発生、死者74人
		12	株式会社ビジネスブレイン太田昭和株式の引受	9	御嶽山が噴火。戦後最悪の噴火災害に
		12	株式会社学研メディカル秀潤社案件の「看護師国家試験合格チャレンジテスト」並びに「看護師国家試験合格必修問題チャレンジテスト」に関する総合システムの開発及び運用業務開始		
2015	平成27	2	相続事務代行サービスの開始	3	北陸新幹線が長野－金沢間で開業
		3	株式会社エフプラス 本社を東京都品川区西五反田 学研ビルに移転	4	日経平均が一時、2万円台を回復
		3	IFA業務システム開発着手	5	大阪市「大阪都構想」の住民投票、否決
		3	東京都品川区に五反田オフィス開設	7	米とキューバ、54年ぶりに国交回復
		5	ISO 27001新規格対応	8	中国経済に陰り、世界同時株安
		7	学研プラスの書籍『おうちゼミ』連動のiOS/Android向け同名アプリの提供開始	10	マイナンバー、通知始まる
		8	第1回「入試カンファレンス」を開催	11	パリで同時多発テロ事件。死者120人超
		8	教育部門を東京支店から五反田オフィスへ移転		
		9	金融機関向け「マイナンバー事務代行サービス」提供開始		
		9	SBIトレードウィンテック株式会社との協業による金融機関向け「マイナンバー管理システム」の共同開発及び提供開始		
		10	タブレットによる『SENS21』サービス開始		
		12	IFA業務システムリリース(ファーストユーザ:PWM日本証券株式会社)		
2016	平成28	2	株式会社ファルコホールディングスと業務提携に関する基本合意	1	日銀、初のマイナス金利を導入
		3	ナカバヤシグループ 日本通信紙株式会社との協業サービス、「資格・検定向けトータルサービス」開始	2	TPP、日米等12ヶ国が協定に署名
		3	株式会社リアルグローブと教育分野で協業	2	シャープ、台湾の鴻海精密工業傘下に
		4	コムストックローン次期システム・開発受託	4	パナマ文書が流出
		4	学研エデュケーショナルの新ウェブサービス「学研教室クラウドルーム」向けのアプリケーションの提供開始	4	熊本地震発生。16日未明に本震発生
		5	ODK能力開発制度の運用開始	5	オバマ米大統領が広島市を訪問
		6	日本初、入試向け動画面接サービス『Movie インタビュー for University』提供開始	6	公職選挙法改正で18歳から投票可能に
		7	受験ポータルサイト『UCARO®』提供開始	6	英国、国民投票でEU離脱を決定
		7	売買審査業務代行サービスの開始	8	天皇、生前退位のビデオメッセージを公開
		8	株式会社ファルコホールディングスと業務・資本提携契約を締結		
		9	株式会社リアルグローブと業務・資本提携契約を締結		
		12	『UCARO®』を通じた低炭素入試」が低炭素杯2017にて優良賞を受賞		
2017	平成29	1	口座開設事務代行サービスの開始	1	ドナルド・トランプが米大統領に就任
		1	日証金次期システム開発本番リリース	5	仏大統領に史上最年少のマクロン氏
		10	カスタマーサービスソフトウェア『Zendesk®』との連携による顧客コミュニケーション最適化サービスの提供開始	6	将棋の藤井聡太四段が公式戦29連勝達成
		10	ファルコバイオシステムズの電子カルテ『HAYATE/NEO』の開発・導入支援開始	8	北朝鮮ミサイル発射。政府、Jアラート発動

西暦	和暦	月	当社の動き	月	業界・社会の動き
2018	平成30	2	取締役への譲渡制限付株式報酬制度の導入	7	西日本集中豪雨「平成30年7月豪雨」と命名
		3	株式会社 DMM.com 証券 『SENS21』サービス開始	7	洞窟で遭難のタイ少年ら13人全員救出
		5	コムストックローン次期システム・本番リリース	9	台風21号上陸。関西国際空港が一時孤立
		9	日本初の入試向け動画面接サービス『Movie インタビュー for University』、1st ユーザとして立命館アジア太平洋大学 (APU) へ提供開始	9	北海道胆振東部地震。道内で大規模停電
		10	時間外勤務手当削減の還元制度導入	11	2025年万博、大阪で開催決定
		12	PMS規定改正個人情報保護法対応 (JIS Q 15001:2017対応)	12	改正出入国管理法が可決成立
2019	平成31	5	ISO/IEC 27017認証取得	4	働き方改革関連法案施行
		6	監査等委員会設置会社へ移行	5	皇太子徳仁親王が天皇に即位。令和に改元
		6	カスタマーサクセス支援ツール『pottos®』のβ版提供開始	10	消費税が10%に
		12	保護者向けサイト『UCARO® family』の提供開始	10	ラグビーW杯日本大会で日本初ベスト8に
		12	コンセプトワードを策定	10	沖縄・首里城で出火、正殿等計8棟が焼損
2020	令和2	2	タグラインを策定	1	イギリスがEU離脱
		3	東京証券取引所市場第二部へ上場市場変更	2	新型コロナウイルスパンデミック
		4	ビジネス&オフィスカジュアルスタイルを全社導入	4	7都府県に緊急事態宣言、その後全国を対象に
		4	コーポレートガバナンス・ガイドライン制定	5	夏の全国高校野球 戦後初の中止決定
		4	株主優待制度の導入	5	緊急事態宣言約1ヶ月半ぶりに全国で解除
		4	在宅勤務対応ネットワーク構築	6	スパコン「富岳」 計算速度世界一
		4	ファルコバイオシステムズに検査依頼報告システムの『Forest α』(タブレットシステム)の提供開始	7	藤井聡太七段 最年少タイトル
		5	コンセプトワードとタグラインを基にシンボルビジュアルを策定	7	九州豪雨 死者77人
		6	第57回定時株主総会及び取締役会で代表取締役社長に勝根秀和就任	7	「Go To トラベル」キャンペーン始まる
		6	『UCARO®』全社戦略推進プロジェクトの発足	8	4-6月期GDP 年率-27.8%
		6	カスタマーサクセス支援ツール『pottos®』の正式版提供開始	10	東証、終日停止 社長辞任
		7	スターティアラボ株式会社及び Mtame 株式会社と協業に関する基本合意	10	『鬼滅の刃』大ヒット
8	大学入試業務の中京圏ファーストユーザ獲得	10	温室効果ガス「ゼロ」宣言		
8	eKYC対応「新マイナンバー管理システム」開発着手	12	GoToトラベル全国一時停止へ		
11	『UCARO®』ユーザ限定、難関大対策映像講座『学研プライムゼミ』一部コンテンツの無料提供開始	12	ファイザー コロナワクチン 日本で承認申請早ければ2月に結論		
12	東京証券取引所市場第一部へ指定変更				
2021	令和3	1	株主優待制度の拡充(優待の贈呈回数を年1回から2回に拡充)	1	菅首相 1都3県に緊急事態宣言
		3	IFA業務システムリリース(セカンドユーザ:藍澤証券)	3	世界共通のデジタル証明書 日本で実証実験始まる
		4	学研教育みらいとの協業による新サービス「入試・リメディアルソリューションサービス」提供開始	4	高齢者へのコロナワクチン接種始まる
		4	能力管理制度の運用開始	7	東京オリンピック開幕
		4	学研メディカル秀潤社から開発を受託した、看護師国試模擬試験 個人成績開示eラーニングシステム『看チャレ』の提供開始		
		6	執行役員制度の導入		
		6	株式会社 E C S の株式取得(子会社化)		
		8	『pottos®』事業の分社化準備にともなう新会社設立		